

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
施設野菜專業經營 III	人 3	きゅうり促成	a 30	1. ハウス促成栽培 2. 収穫は6月末までの長期取り 3. 環境制御技術導入	
		経営耕地面積	水田 0 畑 30		
経営目標	1 農業総収入	19,376 千円	4 1日当たり農業所得	8,889 円	
	2 農業経営費	13,937 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,632 時間	
	3 農業所得	5,439 千円			

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
					千円	年	千円
建物・施設	ビニールハウス	3	連棟補強Ⅱ型SRHハウス 1,000m	1	22,275	8	1,392
	かん水施設	3	一式 1,000m ²	1	648	7	46
	育苗ハウス	1	パイプハウス 200m ²	1	623	8	39
	重油タンク	2	1900L/基	1	365	7	26
	防油堤	2	0	1	384	25	15
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60m ²	1	2,851	24	119
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20m ²	1	950	24	40
	防虫ネット	2	一式 1,000m ²	1	266	7	38
	二重カーテン	3	連棟補強Ⅱ型SRHハウス 1,000m	1	1,561	7	223
		計				29,924	
農機具	トラック	1	軽トラック	1	917	4	115
	トラクター	1	20PS	1	2,065	7	147
	動力噴霧機	1	可搬式、防除タンク(500L)	1	268	7	19
	管理機	1	6.2PS	1	227	7	16
	加温機	2	多段式サーモ込一式 1,000m ²	1	2,827	7	202
	統合環境制御装置	2	モニタリング装置込み	1	3,101	7	222
	炭酸ガス発生装置	2	一式 1,000m ²	1	807	7	58
	循環扇	3	一式 1,000m ²	1	528	7	38
	自動換気装置	3	1000m ² 用	1	2,557	7	183
	局所施用装置	3	ダクトファン	1	1,980	7	141
	計				15,278		1,140

3. 技術体系 (きゅうり促成)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗) 床土づくり	床土積み 切り返し 床土消毒	4~8月	トラック 管理機	1	30	30	堆肥 2t 石灰質資材 30kg リン酸質資材 30kg 油カス 30kg	土:堆肥=1:1 10a当たり 2m ² pH6.0~6.5に矯正する 床土消毒は県病害虫防除基準による
育苗床設置	は種床設置 移植床設置	9月上 10月上		2	12	24	育苗箱 53個 穂木 23個 台木 30個 12cmポット 1,700個	は種床 15m ² 移植床 100m ²
は種		9月下		1	5	5	種子量 穂木 2,000粒 台木 2,000粒	
接木	呼び接ぎ 鉢上げ 断根	10月上 10月中 10月下		2 2	14 1	28 2	クリップ 1,700個	切り込みの深さが浅くならないよう注意
管理	かん水 温度管理	9月下 ~11月上 10月 ~11月		1 1	9 8	9 8		接木10日後頃きゅうりの軸を接木部分近くで切断 温度管理 (育苗前期) 昼間 26~28℃ 夜間 15~17℃ (育苗後期) 昼間 20~26℃ 夜間 13~15℃
病害虫防除	薬剤散布	10月 ~11月上	動力噴霧機	1	1	1		県病害虫防除基準による
(本ぼ) 耕うん整地	耕起整地	10月上	トラクタ	1	4	4	堆肥 2t 石灰質資材 150kg リン酸質資材 60kg	深耕及び有機質の施用
土壌消毒		10月上	土壌消毒機	2	3	6		県病害虫防除基準による
保温施設組立て	ビニール張り	10月中	トラック	4	9	36	ビニール一式	
施肥	基肥施用 追肥施用	10月中 11月下 ~6月	トラック 管理機	2 1	2 15	4 15	N 40kg P ₂ O ₅ 25kg K ₂ O 35kg	Nの分肥割合 基肥40% 追肥60% 追肥は肥料切れしないよう に行う。 液肥の追肥は収穫開始 後 10日頃より行う

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植準備	うね立て 配管 マルチ	10月中	管理機	2 2 2	3 3 4	6 6 8	かん水チューブ 700m ポリフィルム 0.02mm×1.8m ×700m	
定植		10月下	トラック	2	8	16		栽植密度 うね幅1.8m×株間50cm 10a当たり 1,400株
整枝・誘引	支柱立て	10月下	トラック	2	175	350	支柱 350本 針金 20kg テープ 2,500m	(つるおろし栽培) 主枝の13~14節で摘心し、 上から4本の子づるを伸ばし ていく。
環境制御	保温、換気 炭酸ガス局所 施用 自動換気 統合型環境制 御	11月 ~6月	加温機 自動換気扇 炭酸ガス発 生装置 局所施用装 置 自動換気装 置 統合型環境 制御装置	1	25	25	A重油 8,000~10,000L 二重カーテン 灯油 1,200L	二重カーテン設置 環境制御技術により光合 成能力を向上させる 温度管理 日中 25~28℃ 夜間 13~14℃ 炭酸ガス施用日中 400ppmを維持する
かん水		10月下 ~6月	かん水施 設	1	50	50		液肥による追肥は、かん水を 兼ねて施用する。 日射量、生育状況を見なが ら量を調整する
病虫害防除	薬剤散布 天敵利用	10月下 ~6月	動力噴霧 機	2	17	34		県病虫害防除基準による
収穫出荷		12月上 ~6月	トラック	2	614	1228		取扱いは丁寧に行う
後かたづけ		8月中	トラック トラクタ	2	10	20		
計						1900		購入苗利用の場合は、 1,793 時間

